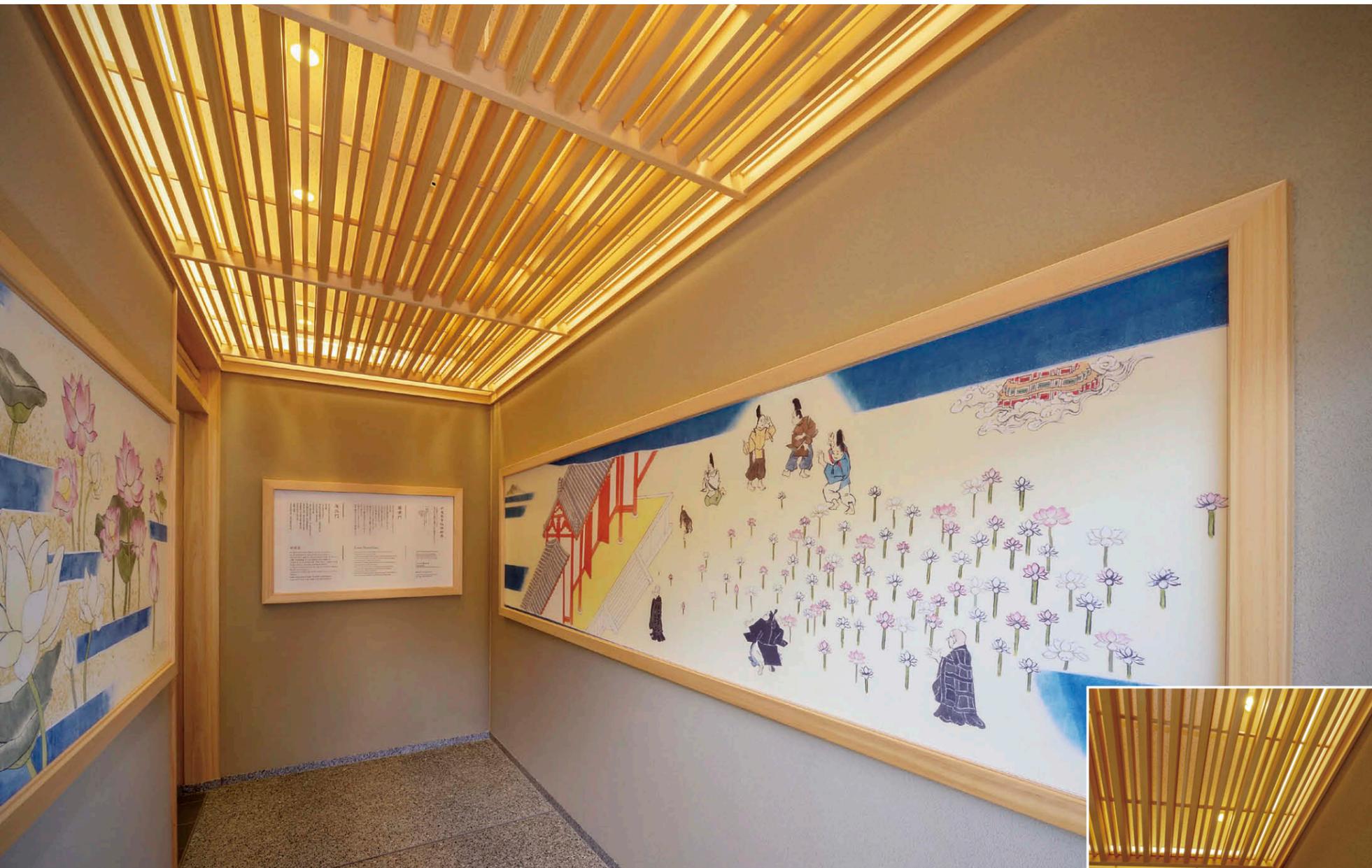


京都有数の観光スポットである東寺が、伝統的な寺社建築技法を用いて観光客用トイレを建て替えました。国宝や重要文化財が立ち並ぶ境内の景観に調和する入母屋造の外観で、屋内には和を意識しながらも現代的な化粧台や洋式トイレを備えています。照明演出でも東寺らしさを意識した意匠を生かす工夫が施され、上質なおもてなし空間が創出されています。

京都東寺が2023年に迎える真言宗立教開宗1200年の記念事業として、築50年を超えて老朽化していたコンクリート製観光客用トイレの建て替えを実施。百年二百年先まで使えるように寺社建築様式の入母屋造が採られ、材は国産ヒノキで柱7寸角、屋根は椼瓦葺きの東寺らしい外観。京都市が推進する「観光地トイレのおもてなし向上プロジェクト」において、50カ所目の「観光トイレ」に認定されています。



【物件概要】
所在地：京都府京都市南区九条町1番地
床面積：82.5㎡
屋根面積：172.5㎡
構造規模：木造、平屋建、入母屋造
施主：宗教学法人 教王護国寺
設計：㈱奥谷組、㈱田中工務店
施工：建築／㈱奥谷組
電気／㈱日本電機商会
竣工：2019年4月



電設ガイド No.174 より五重塔のライトアップ

境内マップ 観光トイレは慶賀門からまっすぐ進んだ右手。トイレ正面からは五重塔も望める。



男子トイレ待合および化粧台コーナー 絵巻物『五重塔』が飾られた男子待合の照明も、電球色のLEDダウンライト②12灯と温白色のLEDベースライト③④を採用した縦格子意匠の建築化照明。



女子トイレ待合 2700KのLEDダウンライト②と3500KのLEDベースライト③④を使用した建築化照明が伝統的な美を演出。壁に掛けられた絵巻物『蓮華門』にも光が回るように配慮。



男子トイレ（左）および女子トイレ（右） 東寺特有の五線の土塀を模した壁や白と濃い木目のコントラストが生み出す上質感に加え、5000KのLEDダウンライト①が明るさと清潔感を演出。

トイレ待合に縦格子意匠のすかし天井にLED照明を組み合わせた建築化照明を採用。

新築された東寺の「観光トイレ」は、桁行（幅）5間、梁間（奥行）3間の大きさで、伝統技法による京都産ヒノキの木造平屋建て。向かって正面に多目的トイレ、左に女子用、右に男子用と分けられています。男女トイレは入口通路が長めにとられ、混雑時の待合スペースと位置付けられています。この待合の壁には、2015年に製作された『平成東寺伝説絵巻』の一場面を特殊な印刷技法により拡大した額が飾られ、柔らかな色合いで描かれた平安時代の東寺の世界に利用者を誘ってます。

待合スペースは、京都らしい格子戸デザインの木製すかし天井となっており、照明はその内側に、温もりある電球色のLEDダウンライトを6灯2列で配置。加えて間接照明として格子周りを縁取るようにLEDベースライトを採用しています。間接照明に光が広がる一般タイプのLEDパー器具を使うことにより、壁面にも光が回り絵巻物の表情が際立つよう配慮しました。すかし天井はランプ交換などメンテナンスができるように脱着できる構造として仕立てられています。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名（品種名）	形名	台数	備考
屋内	① LEDダウンライト LED一体形 非調光タイプ 高気密SB形[屋内・軒下兼用] 埋込穴φ100	LEDD87003N(W)-LS LEDC-21017(W)	33	消費電力：9.5W
	② LED電球付属ダウンライト 埋込穴φ75 一般形 ランプ：LED電球ミニクリプトン形	LDA6L-H-E17/S50W/2	24	消費電力：5.7W
	③ LEDベースライトTENQOOシリーズ 40タイプ 直付形W70	LEKT407203WW-LS9	18	消費電力：13.6W
	④ LEDベースライトTENQOOシリーズ 20タイプ直付形W70	LEKT207083WW-LS9	2	消費電力：5.9W